

つぎの「うれしい!」へ。

keiYO GAS

**環境社会活動
報告書 [CSR]
2021**

03 会社概要

04 トップメッセージ

05 トピックス

都市ガス事業者初 日本政策投資銀行「DB」健康経営格付」において3回連続の最高ランク取得

06  I. 安心安全の取り組み

1. 地震・災害対策

- (1) 設備対策 地震に強いガス設備を構築 / (2) 緊急対策 二次災害を防ぎ、ガスの供給停止範囲を極小化
(3) 復旧対策 一日でも早くガスの供給を再開する

2. 安全対策

- (1) ガスもれ検査・ガス機器調査 / (2) ガスもれ専用電話 / (3) 安心・安全レベルのさらなる向上

10  II. お客さま満足向上

1. 「お客さまの声」を経営に活かす取り組み

- (1) 推進体制 / (2) 「お客さまの声」を活かす仕組み / (3) CS マスター

12  III. 地域社会への貢献

1. 次世代を担う子どもたちへ

- (1) 京葉ガス絵画コンクール / (2) 集金袋の寄贈 / (3) 出張授業・キャリア教育 / (4) 柔道教室・柔道授業支援

2. 地域コミュニティ

- (1) 京葉ガス「小さな親切」の会 / (2) 地域行事への参加 / (3) 地域の見守り活動
(4) 目や耳のご不自由な方へのご案内 / (5) 防災イベント

14  IV. 人財とパートナーシップ

1. 一人ひとりの能力を伸ばす

- (1) 人財育成 / (2) 女性の活躍推進

2. 健康で活気ある職場づくり

- (1) 社長と話そう! / (2) 健康管理体制 / (3) 文体部活動

3. ワークライフバランス

4. パートナーシップ向上に向けて

- (1) 安全大会の実施 / (2) 資格制度・講習会

16  V. コンプライアンスの推進

1. コンプライアンスの推進・取り組み

- (1) コンプライアンスの定義 / (2) コンプライアンスの取り組み方針 / (3) 「企業行動基準」「従業員行動規範」の実践

2. コンプライアンス推進体制の整備

- (1) コンプライアンス委員会 / (2) コンプライアンスホットライン窓口(内部通報制度)

3. コンプライアンス意識の浸透

- (1) 教育研修の実施 / (2) コンプライアンス啓発活動 / (3) コンプライアンスチェックの実施 / (4) 個人情報保護の取り組み

18  VI. 環境への貢献

1. 環境保全の基本理念・行動方針

- (1) 基本理念 / (2) 行動方針

2. 環境への取り組み体制

3. 環境保全に向けた取り組み

- (1) 天然ガスの環境性 / (2) 環境負荷に配慮した京葉ガス柏ビル / (3) 再生可能エネルギー発電の取り組み
(4) CO₂の削減に貢献するはがきの導入 / (5) ガス導管工事の掘削土排出抑制 / (6) 行政との協働による取り組み
(7) 事業活動に伴う環境負荷の実績

【本報告書について】

本報告書は、ISO26000等を参考に当社のCSR活動をまとめたものです。
対象期間：2020年度(2020年4月～2021年3月) 一部左記以外の期間を含みます。
発行：2021年8月

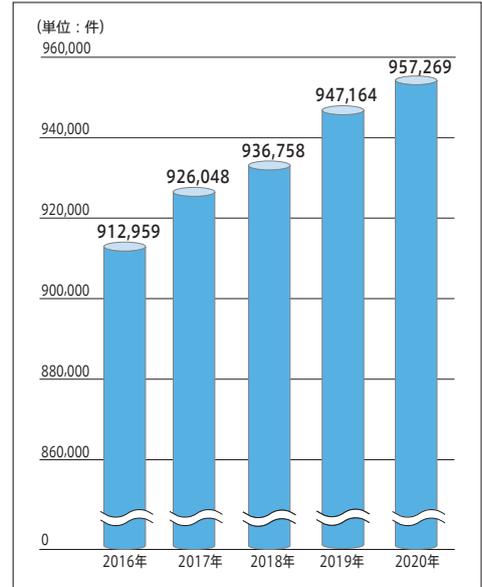
会社概要

本社所在地	千葉県市川市市川南2丁目8-8
設立	1927年1月8日
事業開始	1928年9月20日
資本金	27億5476万円
主な事業内容	ガス事業、電気供給事業、 ガス機器の販売、ガス工事の施工
従業員数	804人(2020年12月末現在/常勤の就業人員)
導管延長距離	6,486km

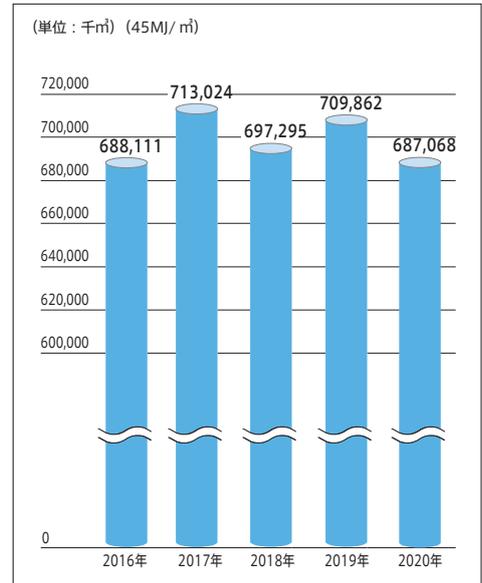
ガス供給区域・導管網



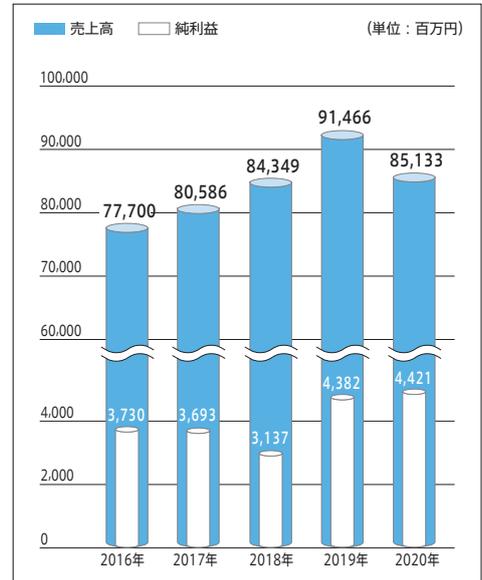
取付ガスメーター数の推移



都市ガス販売量の推移



売上高・純利益の推移



Top Message トップメッセージ

京葉ガスは1927年(昭和2年)の設立以来、千葉県北西部への都市ガスの供給を中心として、地域とともに発展してきました。経営理念として「お客さま視点の企業活動を通じてより快適な生活と豊かな社会の実現に貢献する」を掲げて企業活動を展開しています。

具体的な展開として京葉ガスでは、国が推し進めてきた電力小売全面自由化を背景に、新たなサービスとして電力小売販売を2017年4月に開始しました。おかげさまで本年、お客さまとのご契約数が10万件を超え、都市ガスとともに多くのお客さまにご利用いただくサービスに成長してきました。

今後は、都市ガス・電気を中心としたエネルギー事業を基盤にお客さまの生活全般にわたりサービスを提供していく「総合生活産業事業者」へ進化することを目指します。

また、ありがたい姿「お客さまの`期待を超える、存在となる」を定め、実現に向けてオール京葉ガス^{*1}一体となり取り組むことを決意するとともに、本年1月にコーポレートメッセージと、コーポレートロゴを変更しました。

コーポレートメッセージは15年ぶり、コーポレートロゴは30年ぶりの変更となります。

【新コーポレートメッセージ『つぎの「うれしい!」へ。』について】

～お客さま一人ひとりの「うれしい!」を提供する企業を目指して～
 お客さま一人ひとりの喜びや驚きを生み出す企業へ進化していく意志を表しています。

【新コーポレートロゴについて】

～より身近で親しみのある企業を目指して～
 「I」は「人」、「Y」は大きく成長する木を表現しています。お客さまの暮らしに寄り添い、地域に根付きながら未来に向かって成長し続ける意志を表しています。

つぎの「うれしい!」へ。

keiYO GAS

これからも京葉ガスは、新しいコーポレートメッセージ・ロゴのもと、全社一丸となってお客さまの「より快適な生活と豊かな社会の実現に貢献」してまいります。

そして京葉ガスでは事業活動を通じて社会課題の解決に取り組むことが社会の持続的発展に貢献することであり、SDGs^{**2}の達成に貢献できるものと考えています。

将来にわたり持続可能な社会を実現するために、今後とも京葉ガスは、未来を見据えた事業活動を通じて、つぎの「うれしい!」を実現してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※1 オール京葉ガス：お客さまに提供する価値を高めるための当社、グループ会社を含めたビジネスパートナーで構成する連携体制。

※2 SDGs（持続可能な開発目標）：2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。



代表取締役
 社長執行役員

羽生 弘

経営理念

私たちはお客さまの視点に立った企業活動を通じ、より快適な生活と豊かな社会の実現に貢献いたします。

- エネルギーの安定供給と保安の確保を通じ、お客さまに快適と安心を提供いたします。
- より魅力あるサービスと商品の提供を通じ、お客さま満足の上昇に努めます。
- 変革と創造により、お客さまから選ばれる企業を目指します。
- 環境に配慮し、地域社会に共感を得られる企業活動に努めます。
- ビジネスパートナーとのフェアな企業活動を通じ、協力と信頼関係の構築を目指します。
- 社員一人ひとりの意欲と創造性を尊重し、活気ある企業風土の醸成に努めます。

都市ガス事業者初 日本政策投資銀行「DBJ 健康経営格付」において 3回連続の最高ランク取得

京葉ガスは、株式会社日本政策投資銀行(DBJ) /本店：東京都千代田区、代表取締役社長：渡辺一)の格付融資制度「DBJ健康経営(ヘルスマネジメント)格付」において、2017年、2019年に続き、3回連続の最高ランク評価を取得しました。



京葉ガスでは、企業にとって従業員の健康は重要な財産であり、従業員の健康に配慮する文化を企業で醸成していくことが、結果として企業の生産性の維持向上に資するという「健康経営」の考え方のもと、従業員の健康維持・増進に向けた取り組みを推進しています。今般、この取り組みが評価され、同行の「DBJ健康経営格付」融資制度において2020年も最高ランク評価を取得しました。これで当社の「DBJ健康経営格付」の最高ランク取得は3回連続となり、全国の都市ガス事業者としては初となります。

これまでの評価に加え、今回の格付審査では、主に以下の点で高い評価を受けました。

- 1 企業と健康保険組合との連携の下、「みんなで参加健康づくりプラン(みん健)」を通じた食生活・運動習慣改善などの各種施策実施に加え、保健師が積極的に関与し、ハイリスク者に対する対応を強化するなど、組織と個人の両面から生活習慣病対策を推進している点
- 2 安全衛生大会の開催や日常的な健康意識啓発に資する情報発信はもとより、従業員に健康経営に関する資格取得等を推奨し、従業員一人ひとりの健康リテラシー向上に取り組むことで、施策の実効性を高めている点
- 3 治療と職業生活の両立や休職からの職場復帰にかかる支援体制や各種施策の充実に加え、定期的な経営層からの情報発信や経営層と従業員の対話の機会を設けるなど、働きやすく風通しの良い職場環境・風土の醸成に努めている点

京葉ガスは今後も「企業にとって従業員の健康は重要な財産である」と考え、積極的に健康維持・増進の施策に取り組んでまいります。



1. 安心安全の取り組み

1. 地震・災害対策



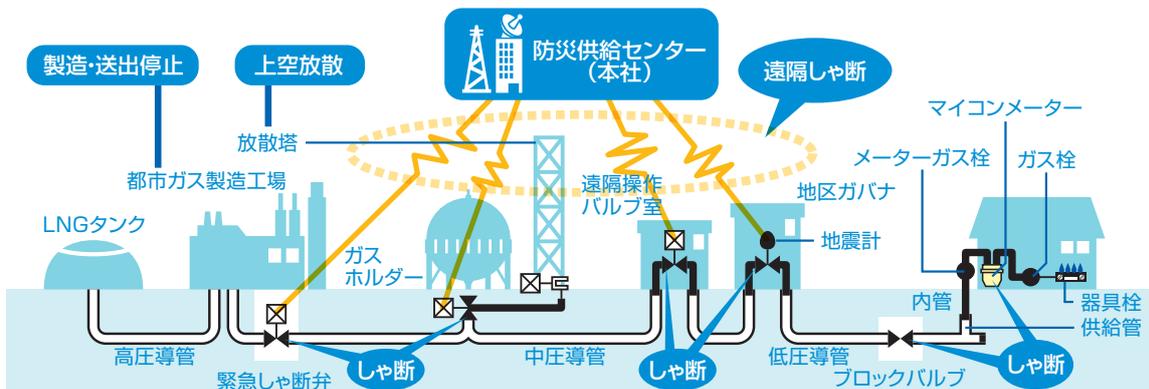
都市ガスの設備は、大地震に耐えられるような安全な構造として設計されています。

京葉ガスでは、地震・災害に対する安全性の向上を目指して、設備・緊急・復旧の観点で、保安・安全対策の強化を進めています。

(1) 設備対策 地震に強いガス設備を構築

耐震性に優れたガス導管や供給設備の構築、規定値以上の揺れを感じると自動的にガスの供給をしゃ断する保安システムの導入など、安全対策を推進しています。

供給ラインの安全システム



ガスホルダー



球体の部分は何枚もの高張力鋼をつなぎあわせてつくられています。また、支持地盤まで打ち込んだ杭や強固な鉄筋コンクリート基礎などにより、高い耐震性を確保しています。

マイコンメーター

ガスメーターに組み込んだマイコンが24時間、ガスの使用状況を見守り、ガスもれや地震(震度5強相当以上)などを感知すると、自動的にガスを止めます。



ガス導管



高・中圧の導管には耐震性に優れた鋼管を、低圧には腐食しにくく可とう性のあるポリエチレン管を積極的に採用しています。また、万一、事故などで導管の一部に支障をきたしても、問題のない区域へのガス供給が継続できるよう、ネットワーク化された導管網を構築しています。

地震計

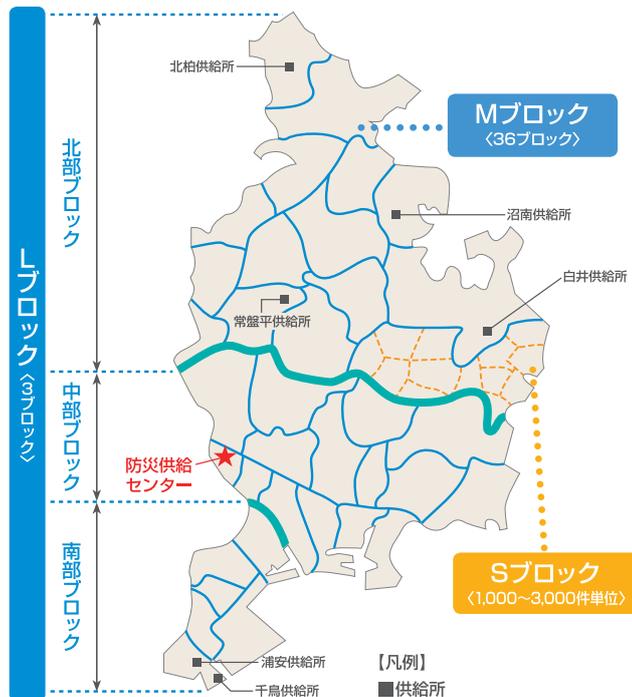
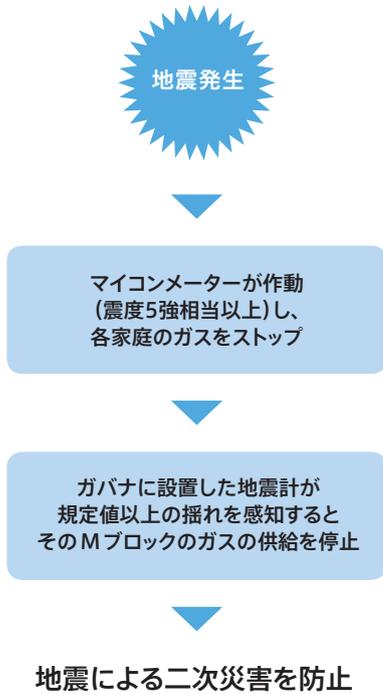
ガスの圧力を調整するガバナに地震計を設置。地震計が規定値以上の揺れを感知した場合に、ガバナを自動停止させ、低圧のガス供給をしゃ断します。





(2) 緊急対策 二次災害を防ぎ、ガスの供給停止範囲を極小化

供給エリアを北・中・南部のLブロック、さらに全体を36のMブロックに細分化し、約400カ所に設置している地震計が一定以上の揺れを感知した場合は、二次災害防止のため、該当するMブロック地区のガス供給を停止します。ブロック化された導管網により、問題のないブロックへの供給を継続していき、影響を最小限に抑えます。また、地震・災害発生時の緊急体制を整備し、さまざまなリスクへの対策を整えています。



緊急体制の整備

社員自動出動^{*}(個人動員カード)

京葉ガス個人動員カード
地震時のあなたの所属班、出社場所と役割を確認しておきましょう

氏名	京葉 太郎		
所属班	司令部		
出社場所	防災供給C 4F		
役割	広報・情報処理スタッフ		

動員基準

震度階	5弱	5強	6弱以上・警戒宣言等
非常体制	第1次	第2次	第3次
動員対象者	営業班 設備点検班 供給班		全班

*警戒宣言あるいは「関東トラフ地区に関連する情報」の内、短期の内に地震の発生が予測されるもの。

対策本部設置(訓練)



供給設備常時監視・操作 (供給指令室、監視制御システム)



出動体制(緊急作業車両)



^{*}供給区域の各市の震度階が5弱以上と発表された場合は、当社社員は休日・夜間を問わず、あらかじめ決められた場所へ出動する体制をとっています。(市川市、松戸市、鎌ヶ谷市、浦安市、船橋市、柏市、流山市、白井市)



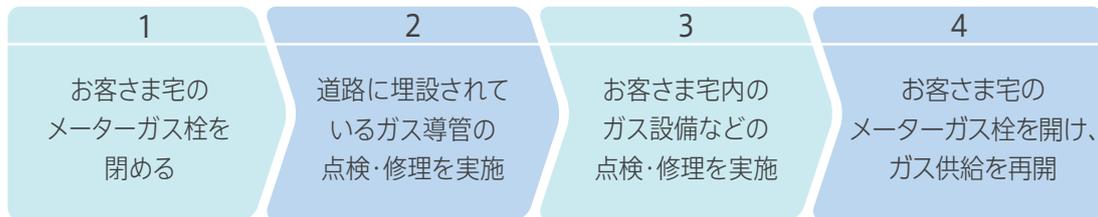
(3) 復旧対策 一日でも早くガスの供給を再開する

ガスの供給を停止した地域の復旧作業は、迅速化をはかるために、Mブロックをさらに1,000～3,000件単位で細分化したSブロックごとに進めていきます。復旧作業に必要な要員や資機材、行動基準を整備するとともに、毎年地震訓練を実施し、各行政機関の訓練にも積極的に参加しています。



地震訓練

復旧作業の流れ



☀️ 復旧対策

復旧工事訓練の実施



復旧資材の備蓄



復旧作業用車両の整備



臨時ガス供給設備の準備
(移動式ガス発生設備)





II. お客様満足向上

1. 「お客様の声」を経営に活かす取り組み



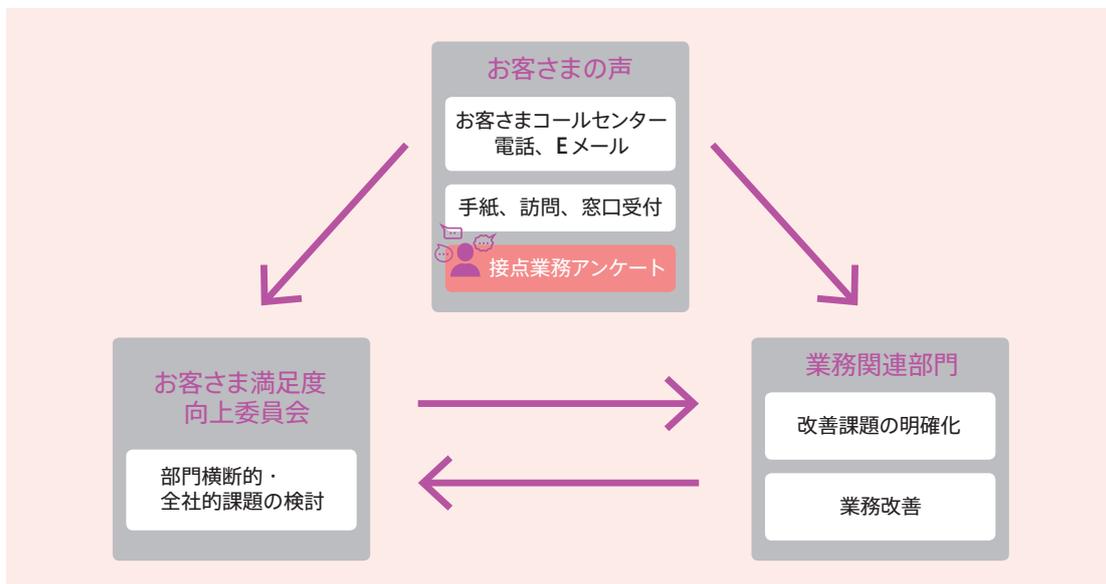
京葉ガスでは、さまざまな場面でお客さまと接する機会があります。その接点機会の一つひとつを大切に、お客さま満足向上に努めています。また、お客さまからいただいた「声」を従業員一人ひとりの原動力として全社的に共有することで、さらなるサービス品質の向上に役立てています。

(1) 推進体制

京葉ガスでは、お客さまの多様なニーズを迅速・的確に把握し、業務改善に結びつける仕組みを強化しています。そのひとつとして、お客さまの声への対応やお客さま満足度調査結果から導き出された課題、お客さま満足度向上に関わる部門横断的・全社的課題についての検討を目的に、2009年から社長を委員長とする「お客さま満足度向上委員会」を開催しています。

(2) 「お客様の声」を活かす仕組み

京葉ガスは、お客さまから選ばれる会社であり続けるため、「お客様の声」を真摯に受け止め、積極的に企業活動に活かしています。電話や各種アンケートから寄せられる「お客様の声」を関係部署で構成する専門会議を通じて、改善策を検討して着実に実施することにより、日々のサービス改善に努めています。



CS^{*1}向上研修の実施

京葉ガスでは、お客さま接点業務^{**2}従事者を対象に、CS向上研修を継続的に実施しています。研修には「お客様の声」を反映した内容を取り込み、お客さま視点に立った業務の遂行を心がけています。

※1…お客さま満足(CS：Customer Satisfaction)のこと。

※2…お客さま宅を訪問する作業のこと。(定期保安巡回やガスの開栓・閉栓作業など)





接点業務アンケート

接点業務における対応品質やお客さま満足度について、作業完了後にアンケート調査を実施しています。また、回答は作業担当者にフィードバックするとともに、関係部署にて業務改善に活用しサービス向上に役立てています。

調査概要(2020年)

対象業務	開栓(ガスをお開けする作業)、ガス機器修理、ガス機器取り付け
調査方法	作業後お客さまにアンケート用紙を郵送
調査対象件数	年間 約6,719件(全業務の合計) 回収率39.1%
調査内容	対応品質、実施すべき作業ポイントなど お客さま満足度：再ご用命度(ぜひ依頼したい)*の回答割合 <small>※2019年調査の再ご用命度「ぜひ依頼したい」「どちらかといえば依頼したい」の回答合計割合から評価方法を変更</small>

アンケート結果

お客さま満足度
対象業務平均

69.4%

(3) CSマイスター

「CSマイスター」[※]制度

「CSマイスター」制度を2015年より導入しています。お客さまからいただいたおほめ・お礼をポイント化し、累積したポイント数に応じて、作業員に「CSマイスター」の称号を認定する制度です。称号は、ポイント数に応じて4段階(ブロンズ、シルバー、ゴールド、プラチナ)あり、称号認定者にはバッジや認定証を授与しています。オール京葉ガスでは、当制度を利用し、「もう一度この人に接客してほしい」と思われるような接客サービスをめざし、常にレベルアップを図っています。

※「CSマイスター」とは、ガス機器の取り付けや修理、ガスの開栓作業、ガスもれ点検などでお客さま満足(CS)の高い評価を得ている作業員です。



バッジ



認定証

称号認定者
(2021年4月時点)

称号	人数(人)
プラチナマイスター	3
ゴールドマイスター	23
シルバーマイスター	143
ブロンズマイスター	295



III. 地域社会への貢献

1. 次世代を担う子どもたちへ



京葉ガスの社会貢献活動基本方針「私たちは地域社会の一員として、社会貢献活動を通じて豊かな社会の実現に貢献します」をもとに、社会貢献活動を進めています。

(1) 京葉ガス絵画コンクール

京葉ガスが都市ガスをお届けしている、市川市、浦安市、船橋市、松戸市、柏市、鎌ヶ谷市、白井市、流山市の8市に在住・在学する小学生を対象に、1997年から絵画コンクールを開催しており、毎年多くの応募をいただいています。

●2020年は新型コロナウイルスの影響により、開催を見送りました。(写真は2019年表彰式)



絵画コンクール表彰式

(2) 集金袋の寄贈

次世代を担う児童・生徒を教育の場を通じて支援するため、京葉ガスが都市ガスをお届けしている地域の幼稚園・保育園、小・中学校に対し、1981年から集金袋の寄贈を続けています。2021年は約19万部を寄贈しました。



(3) 出張授業・キャリア教育

楽しく親しみやすい体験を通して環境やエネルギーに関心をもってもらうことを目的に、2005年から小・中学生を対象とした、出張授業を行っています。出張授業には、「防災のちしき」「ものの燃え方と炎のチカラ」「都市ガスが届くまで」「エコ・クッキング※」の4つのプログラムを用意しています。また、キャリア教育の一環として、小・中学生対象の「職場体験」や「職業講話」、高校生・大学生・専門学校生を対象とした「インターンシップ」を受け入れています。

●2020年は新型コロナウイルスの影響により、一部のみ開催しました。

※エコ・クッキングとは、環境のことを考えて「買い物」「調理」「片付け」をすること。エコ・クッキングは東京ガス㈱の登録商標です。



出張授業「都市ガスが届くまで」

参加児童の声(出張授業「ものの燃え方と炎のチカラ」)

今、火はいろいろなことに役立てられ、とても便利ということがわかった。火はとても必要なもので生活する上では欠かせない。

保護者の声(出張授業「都市ガスが届くまで」)

ガス管が地震などでも破損しにくいように変わったこと、天然ガスは害が少ない等、色々覚えてきて楽しそうに話していました。

(4) 柔道教室・柔道授業支援

柔道を通じて児童の健全な育成に寄与することを目的に、小学生対象の柔道教室を開講しています。週に1回、京葉ガス柔道部OBが、子どもたちに体を動かすことの楽しさや礼法・作法などを教えています。また、中学校の体育の授業における武道必修化に伴い、京葉ガスでは2012年から供給区域内の中学校に対して柔道部OBを指導者として派遣し、授業をより安全に行うための支援活動に取り組んでいます。

●2020年は新型コロナウイルスの影響により、活動を見送りました。



鏡開きで演舞を披露する柔道教室生徒

2. 地域コミュニティー



(1) 京葉ガス「小さな親切」の会

京葉ガス「小さな親切」の会は、1985年に発足以来、30年以上にわたり活動してきました。自治体主催のクリーン作戦への参加や、定期的に行う社屋近隣の清掃活動などを通じ、地域のみなさまが暮らしやすい街づくりに貢献しています。また、献血やチャリティー募金の実施、大災害の発生に際しては、運動本部の見舞金、義援金の呼びかけにいち早く応じて寄付を行うなど、被災地支援にも積極的に取り組んでいます。

(2) 地域行事への参加

行政や地域諸団体が主催する地域行事(イベント)に、積極的に参加・協力しています。「環境フェア」への出展をはじめ、エコ・クッキングの協働開催など、地域のみなさまとのふれあいを大切にするとともに、環境問題対策の側面からも地域社会の活性化に貢献しています。



浦安市環境フェア

(3) 地域の見守り活動

行政と覚書などを締結し、日々の検針などの業務中に地域のみなさまの安否に関して気になる状況を察知した際は、行政に速やかに情報提供することになっています。こうした取り組みを通じて、みなさまの安心した暮らしに貢献しています。

(4) 耳のご不自由な方へのご案内

耳のご不自由なお客さまには、「ガスもれの通報」「お引越しの手続き」などをFAXで受け付けています。また、京葉ガスのお客さま受付窓口には「耳マーク(聴覚障害表示マーク)」を掲示し、聴覚に障害を持つお客さまが援助を受けやすい環境づくりに努めています。



(5) 防災イベント

行政が主催する防災イベントを通じて、防災に関する情報を提供しています。また、ガスを安全にお使いいただくためのガス機器の正しい接続やガスメーターの復帰方法なども紹介しています。





IV. 人財とパートナーシップ

1. 一人ひとりの能力を伸ばす



京葉ガスでは、社員を資産(人財)と捉え、人財育成や一人ひとりが活躍することのできる風土づくりを推進しています。

(1) 人財育成

京葉ガスでは、2020年に社員研修体系の見直しを行い、社員研修や評価制度をはじめとする人事制度に加え、職場におけるOJTなどの育成の取り組み、従業員自身による自己啓発の取り組みを有機的に関連付けることで、「成長と挑戦を続ける人財」の育成を目指しています。

(2) 女性の活躍推進

京葉ガスでは、社員の多様性を活かす取り組みのひとつとして「女性社員の活躍」を推進しています。関連法令に基づき行動計画を策定し、新卒採用における女性の応募者と採用割合の増加や女性のキャリア形成を支援するための人財育成やセミナーの開催、これまで女性が少なかった部署に女性を配置し多様な経験機会を与えるなど、女性社員のさらなる活躍の場を増やすことに取り組んでいます。2020年は男性の育児参画が女性の更なる活躍に資するとの考えのもと、育児休職を取得した男性従業員ならびにその上司のインタビューの実施・公開を行いました。今後も継続して様々な取り組みを展開していきます。



2. 健康で活気ある職場づくり



(1) 社長と話そう!

社長と社員のコミュニケーションを図る機会として、毎月2回「社長と話そう!」を開催しています。社長と参加者、お互いの考えや人となりを知り合い、さらに経営課題・業務課題を見つけ、価値観が共有される風通しの良い組織風土の醸成を目指しています。通算91回開催し、555人が参加しました。(2017.4～2021.3)



(2) 健康管理体制

企業にとって従業員の健康は重要な財産であり、従業員の健康に配慮する文化を企業で醸成していくことが、結果として企業の生産性の維持向上に資するという「健康経営」の考え方のもと、従業員の健康維持・増進に向けた取り組みを推進しています。これらの取り組みの結果、京葉ガスは従業員の健康維持・増進を重視し、健康管理を経営課題とした取り組みを評価する株式会社日本政策投資銀行の格付け融資制度「DBJ健康経営格付」において2017年、2019年に続き2021年にも最高ランク評価を取得しています。

- 保健師・産業医・嘱託医による健康相談体制、メンタルヘルス相談体制を整備
- 「運動の習慣化」「食生活の改善」「禁煙の促進」を軸とした健康増進施策の推進
- メンタルヘルス対策としてのストレスチェックおよび従業員教育
- 資格取得(メンタルヘルスマネジメント検定など)の促進
- 労使による、中央安全衛生委員会・職場安全衛生委員会の開催
- 「京葉ガス健康宣言」の策定・公開

(3) 文体部活動

従業員相互の親睦を深めること、また従業員の士気高揚の一環として、文体部活動を奨励しています。特に、柔道部と野球部は全社を挙げて応援し、全国レベルの各種大会で優秀な成績を収めています。



3. ワークライフバランス



やりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方、育児・介護の時間や家庭、地域、自己啓発などにかかる個人の時間を持てる健康で豊かな生活が送れるよう、以下の取り組みを実施しています。

- フレックスタイム制度の実施
- 勤務間インターバル制度の実施
- ノー残業デーの設定
- 柔軟な時差勤務制度の活用
- 3日間連続有給休暇取得の促進
- 仕事と育児・介護との両立に向けた制度の充実および環境の整備
- 労働時間や育児・介護との両立支援に関する労使の専門委員会の設置



2016年7月、仕事と介護を両立できる職場環境の整備に取り組む企業が使用できるシンボルマーク(厚生労働省作成、愛称：トモニ)を取得しました。

4. パートナーシップ向上に向けて



(1) 安全大会の実施

2008年から供内管(本支管※から宅地内に引き込むためのガス管および宅地内のガス管)工事安全大会を開催しています。施工品質向上のための取り組みの紹介や、安全管理などに関して顕著な実績をあげたビジネスパートナーへの表彰などを通じて、安全意識の向上を図っています。本支管工事に関しても、各工事会社が自主的に安全大会を開催し、京葉ガスも支援しています。

- 2020年は、新型コロナウイルスの影響により開催を見送りました。(写真は2019年の開催時)
- ※道路に埋設されているガス管



(2) 資格制度・講習会

京葉ガスでは、資格制度を設け、ガス本支管、供内管の工事・保安、ガス機器の設置・修理などに従事するビジネスパートナーを主な対象として、各分野の基礎から高度な教育(資格講習)を段階的に実施し、確かな知識と技術を身につけた「お客さまに信頼され、ご満足いただけるガスのスペシャリスト」の育成に取り組んでいます。また、広く業務に関わる知識や技能を習得するための一般講習をはじめ、公的資格取得支援講習や安全衛生教育、基礎講習会内でCS・マナー教育を実施しているほか、一部の講習については、千葉県および近郊の都市ガス事業者向けに講習を開催しています。



V. コンプライアンスの推進

1. コンプライアンスの推進・取り組み



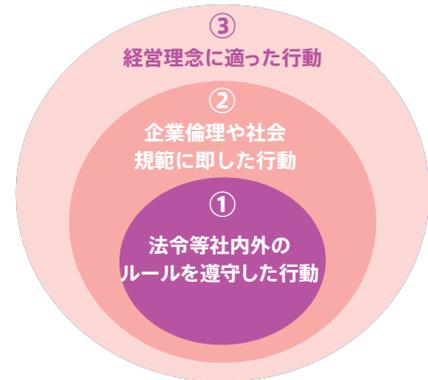
お客さまや社会から常に信頼を得られる企業となるため、従業員自らが公正かつ誠実に行動することにより、コンプライアンスの徹底・強化に努めています。

(1) コンプライアンスの定義

コンプライアンスとは、

- ① 「法令」等社内外のルールへの遵守に限らず、
- ② 社会から求められる「企業倫理」や「社会規範」に即した行動をすることに加え、
- ③ 経営理念にある「お客さま視点に立った企業活動」を私たち一人ひとりが理解し、行動していくこと、

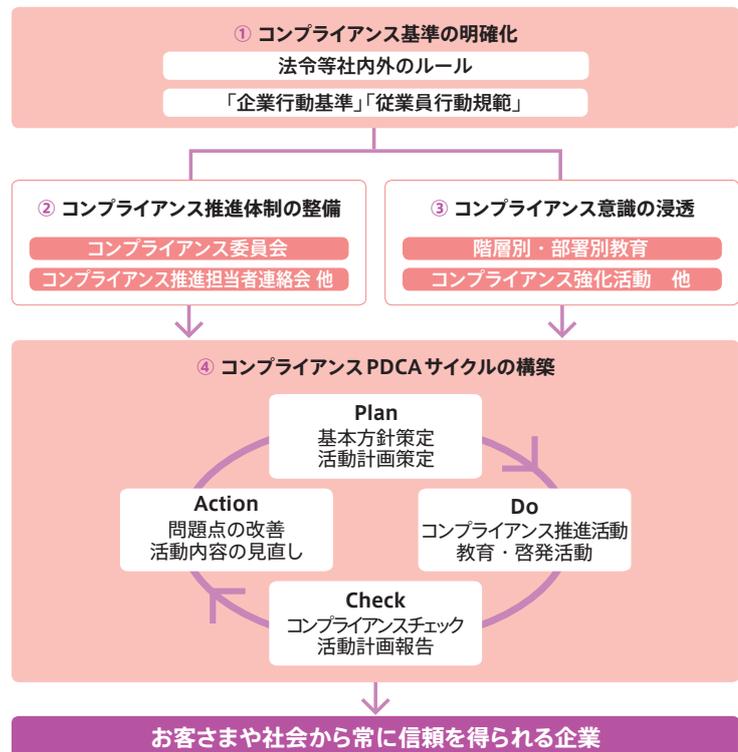
であると定義しています。



(2) コンプライアンスの取り組み方針

京葉ガスは、お客さまや社会から常に信頼を得られる企業になるための基盤として、「コンプライアンスの推進」を経営上の最重要課題の一つとして位置付けており、オール京葉ガスが一体となり、以下の方針に沿って取り組んでいます。

- ① コンプライアンス基準の明確化
- ② コンプライアンス推進体制の整備
- ③ コンプライアンス意識の浸透
- ④ コンプライアンスPDCAサイクルの構築



(3) 「企業行動基準」「従業員行動規範」の実践

京葉ガスは、公益事業者としての使命と責務のもと、厳守すべき基本的事項を「企業行動基準」として定め、その具体的な指標として「従業員行動規範」を2003年に制定しました。また、「企業行動基準・従業員行動規範」に則した行動を実践するにあたって留意すべき事柄や参考となる事例などをまとめた「私たちの行動規範」を作成し、実践の徹底に努めています。

2. コンプライアンス推進体制の整備



(1) コンプライアンス委員会

京葉ガスでは、社長を委員長とするコンプライアンス委員会を設置し、コンプライアンスに関するさまざまな施策を検討しています。また、部署ごとに、コンプライアンス推進責任者(箇所長)および推進担当者*を選任し、コンプライアンス活動の推進や啓発に努めています。

*オール京葉ガス各社においても、推進担当者を選任し、コンプライアンスの推進活動に努めています。

(2) コンプライアンスホットライン窓口(内部通報制度)

従業員が業務に関連するコンプライアンス上の問題に直面したり、疑問・悩みを感じた際に、通報・相談できる「コンプライアンスホットライン窓口」を設置しています。

受け付けた通報・相談に対しては、公平かつ公正に検討・調査し、改善などが必要な案件については、迅速かつ適切に改善策・再発防止策を講じています。

3. コンプライアンス意識の浸透



(1) 教育研修の実施

コンプライアンスに対する従業員の意識浸透をはかるため、年2回の定期教育、階層別の研修(新入社員・新任管理職など)を実施しています。定期教育においては、各部署が抱える問題について、各職場で率直に話し合い、改善していくという風土作りを目的に実施しています。その他、イントラネットを利用した事例解説など、定期的に情報を提供しています。

(2) コンプライアンス啓発活動

毎年10月を「コンプライアンス強化月間」として設定し、コンプライアンスの徹底を図っています。

(3) コンプライアンスチェックの実施

年に1回、コンプライアンスチェックを実施しています。コンプライアンスの定着状況の把握や、さらなるコンプライアンス意識の醸成を目指すとともに、集計結果を分析し、問題点の改善・活動内容の見直しに役立てています。また、調査結果をイントラネットで公開し、従業員で共有しています。

コンプライアンスチェックの主な結果

「コンプライアンスの定義」を理解していますか？

理解している・やや理解している 94.7%

*2021年5月調査。

【詳細】

理解している	60.8%	あまり理解していない	4.7%
やや理解している	33.9%	理解していない	0.6%

(4) 個人情報保護の取り組み

京葉ガスでは、お客さまの情報を取り扱う委託先全箇所に対し、情報の取り扱いに関する遵守状況等の確認を行っています。また、コンプライアンス強化月間において個人情報保護の重要性について再確認するなど、個人情報保護に関する意識の向上を図っています。



VI. 環境への貢献

1. 環境保全の基本理念・行動方針



(1) 基本理念

京葉ガスは、資源とエネルギーの効率的利用を追求し、環境と調和のとれた豊かな地域社会を実現するために、環境保全に積極的に取り組んでいきます。

(2) 行動方針

● 環境負荷の低減

天然ガスの普及および利用分野の拡大と省エネルギーの推進によってCO₂などの排出抑制および防止を図ります。

● 循環型社会の形成

廃棄物の排出を抑制し、リサイクルを推進します。

● 新技術等の導入促進

環境保全に関わる新技術などの導入促進に積極的に取り組みます。

● 教育・啓発

オール京葉ガスとして環境教育活動を行います。

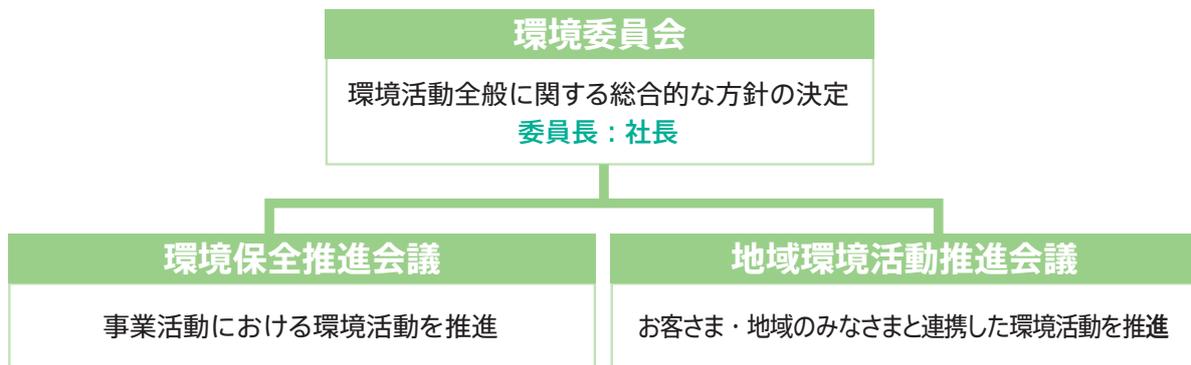
● 地域社会との共生

地域社会の環境保全に貢献します。

2. 環境への取り組み体制



環境保全を経営上の重要な活動と位置づけ、社長を委員長とする「環境委員会」を設置して全社での活動を推進しています。さらに、事業活動における環境保全活動を推進する「環境保全推進会議」と地域のみなさまと連携した環境活動を推進する「地域環境活動推進会議」を設け、取り組みを行っています。



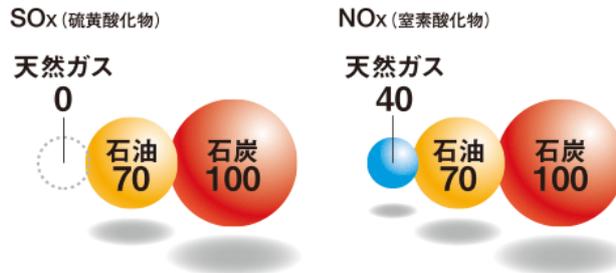
3. 環境保全に向けた取り組み



(1) 天然ガスの環境性

都市ガスの主原料である天然ガスは、石油等の化石燃料のなかで燃焼されたときに排出されるCO₂が最も少ないエネルギーです。

また、大気汚染の原因となるNO_x（窒素酸化物）の排出量も少なく、SO_x（硫黄酸化物）の排出はありません。



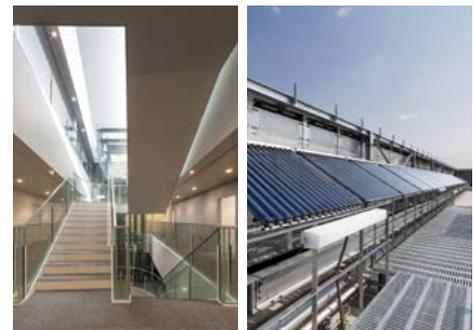
出典：エネルギー白書2016（資源エネルギー庁）

(2) 環境負荷に配慮した京葉ガス柏ビル

2012年3月に竣工した京葉ガス柏ビルは、「環境負荷の低減」「災害活動拠点としての機能維持」「エネルギーセキュリティの向上」を主なコンセプトとしています。

さまざまな省エネルギー設備やBEMSを導入することで、建物がどれだけ環境に配慮して作られているかを示すための指標であるCASBEEにおいて、最高ランクである「Sランク」の評価を取得しました。

環境性や省エネルギー性に優れた設備を積極的に導入することで、環境負荷の低減に取り組んでいます。



(3) 再生可能エネルギー発電の取り組み

2013年より稼働しているメガソーラー施設「白井太陽光発電所」の2020年度の総発電量は2,523千kWhとなりました。太陽光発電はCO₂を排出しないことから、2020年度の発電量は系統電源と比較して1,153tのCO₂を削減したことに相当します。

京葉ガスは、脱炭素社会の実現に貢献するため、オール京葉ガスの連携を強化して、大規模太陽光発電事業をはじめ、水力発電等の再生可能エネルギー発電事業を展開しています。



(4) CO₂の削減に貢献するはがきの導入

2010年よりお客さまへ郵送する各種ご案内に「カーボン・オフセット^{*1}付きはがき^{*2}」を導入し、森林保全などに貢献しています。

※1：人間の経済活動や生活などを通して排出されたCO₂を、植林・森林保護・クリーンエネルギー事業などによって直接的、間接的に吸収・相殺（オフセット）しようとする考え方や活動

※2：環境省の「2009年度カーボン・オフセットモデル事業」として採択された、トッパン・フォームズ株式会社の製品



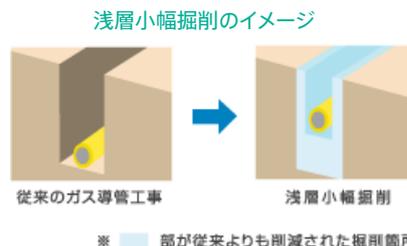
カーボン・オフセット付きはがき



(5) ガス導管工事の掘削土排出抑制

浅層・小幅掘削

ガス導管を埋設する深さを従来よりも浅くするとともに掘削幅を狭くすることで、掘削土を削減しています。

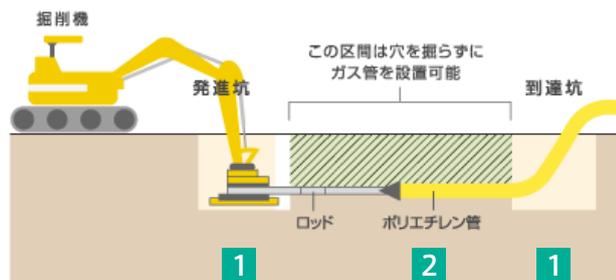


非開削工法

一般的なガス導管工事では道路に沿って埋設する延長分を帯状に掘削します。一方、非開削工法は工事区間の両端に小さな穴（掘削坑）を設けてガス導管を地中に引き込むため、掘削面積を大幅に削減できます。

導管新設用非開削工法

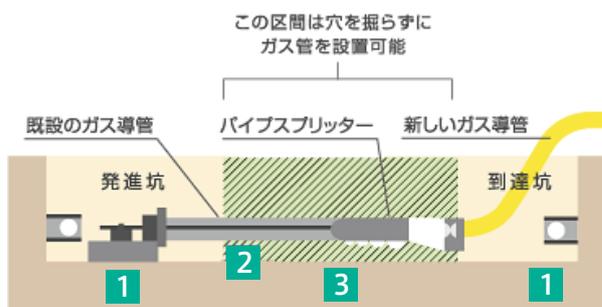
京葉ガスが国内で初めて導入した「フレックスドリル工法」は、推進機を掘削機の先端に取り付ける工法です。従来の非開削工法に比べてコンパクトなため、施工スペースを小さくすることができます。



- 1 工事区間の端部に発進坑と到達坑を掘削して発進坑にフレックスドリルを設置します。
- 2 発進坑から到達坑までロッド（鋼製の棒）を通して新しいガス管を引き込みます。

既設導管入替用非開削工法

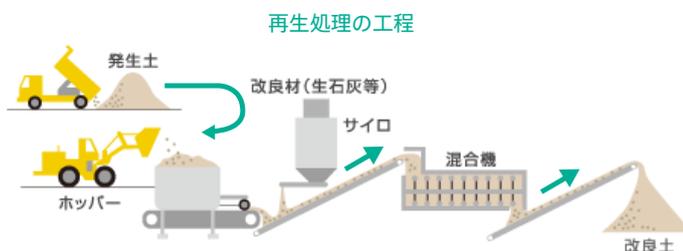
「パイプスプリッター工法」は既設のガス導管を切り裂きながら新しいガス導管（ポリエチレン管）を設置する非開削工法です。



- 1 工事区間の端部に発進坑と到達坑を掘削して発進坑に押し引き機械を設置します。
- 2 既設管のなかにロッド（鋼製の棒）を通してカッターと新しいガス管を取り付けます。
- 3 押し引き機械でロッドを引き込むことで、既設管を切り裂きながら新しいガス管を設置します。

掘削土の再利用

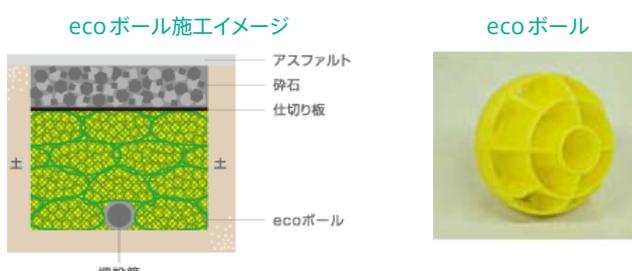
ガス工事で発生した掘削土は土質改良を行い、埋め戻し用の土として再利用しています。



仮埋戻し材料（ecoボール・EPSブロック）の活用

連続したガス工事ではガス導管の末端部分を再度掘削する必要がありますが、再利用可能な仮埋戻し材料（ecoボール・EPSブロック^{※1}）を活用することで掘削土の削減に取り組んでいます^{※2}。

※1：EPS：Expanded Polystyrol＝発砲スチロール
 ※2：翌日に再度掘削するような箇所等、使用可能な工事に制限があります。



(6) 行政との協働による取り組み

行政が主催する環境イベントや地域清掃活動などに積極的に参加することで、地域のみなさまと連携した環境活動に取り組んでいます。

環境イベント

環境フェア(市川市・浦安市・船橋市)、環境フェスタ(柏市)、環境フォーラム(白井市)、環境パネル展(鎌ヶ谷市)、まなぼう!あそぼう! COOL CHOICEひろば(船橋市)、エコメッセ inちば(千葉市)

地域清掃活動

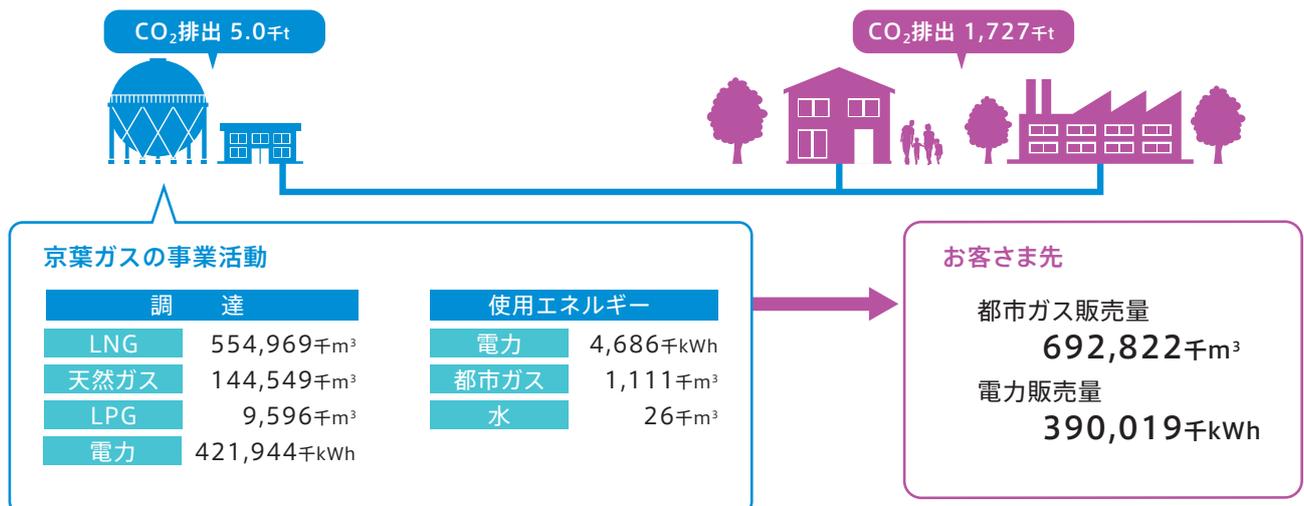
江戸川クリーン大作戦(市川市・松戸市)、市民ぐるみでクリーンデー(松戸市)、ゴミゼロ運動(柏市)、ふなばし三番瀬クリーンアップ(船橋市)、船橋をきれいにする日(船橋市)



江戸川クリーン大作戦

●2020年度は新型コロナウイルスの影響により、多くのイベント活動が見送られました。(写真は2019年)

(7) 事業活動に伴う環境負荷の実績

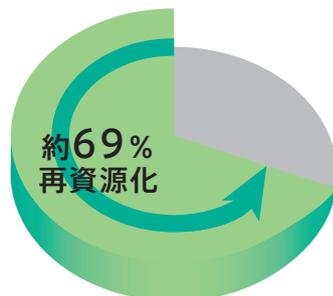


外部排出(再資源化)

※排出量→再資源化後排出量

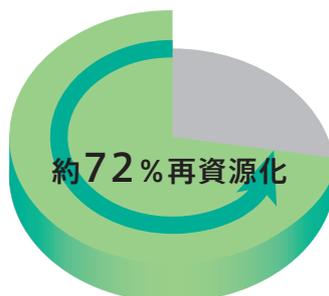
一般廃棄物

57t→18t 排出



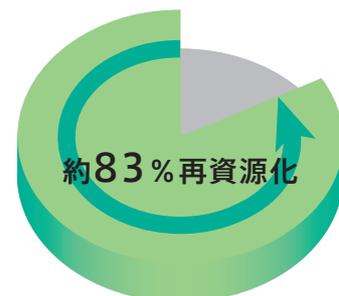
産業廃棄物

750t→209t 排出



掘削土

48千m³→8千m³ 排出



つぎの「うれしい!」へ。

KeiYO GAS

<https://www.keiyogas.co.jp/>

発行

京葉ガス株式会社 企画部
千葉県市川市市川南2-8-8

